

経済・金融 フラッシュ

ユーロ圏失業率(2022年5月) —低下が進み6.6%に

経済研究部 准主任研究員 高山 武士

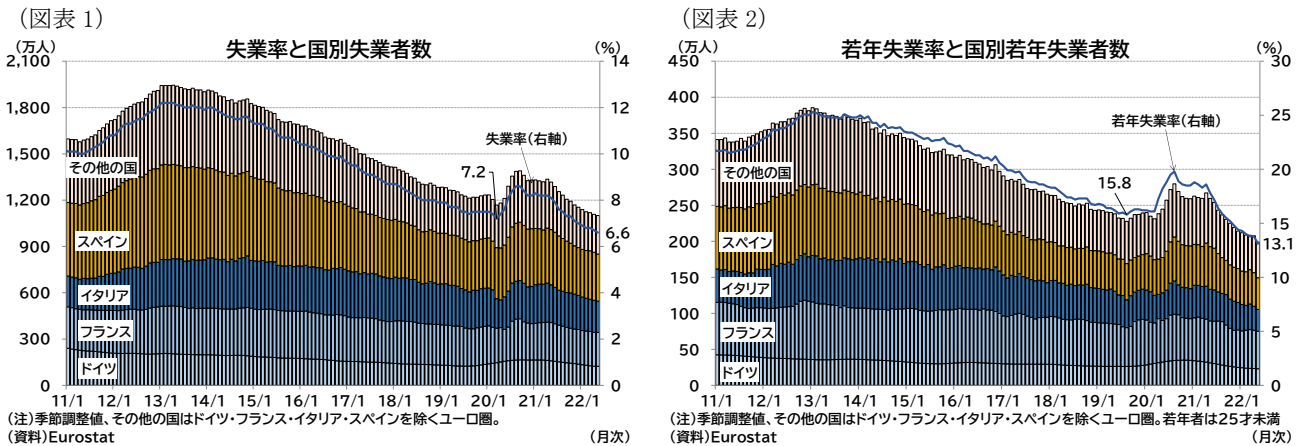
TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

1. 結果の概要: 6.6%まで低下

6月30日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

【ユーロ圏19か国失業率(2022年5月、季節調整値)】

- ・失業率は6.6%、市場予想¹(6.8%)より低く、前月(6.7%)からも低下した(図表1)
- ・失業者は1100.4万人となり、前月(1108.5万人)から8.1万人減少した



2. 結果の詳細: 若年失業率の改善が顕著

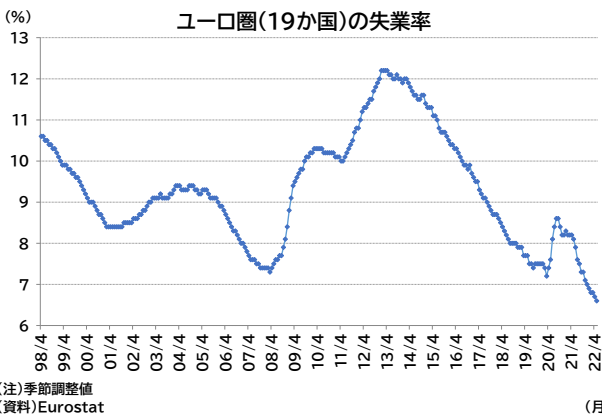
ユーロ圏の22年5月の失業率は6.6%で、前月の6.7%から低下し、統計データ開始以来の最低値となった(図表3)。4月以前の改定値については、改定幅は大きくなかったが、4月の失業率が改定値でわずかに下がっている(改定前:6.8%→改定後:6.7%)。

失業者数は5月の前月差で8.1万人減(4月改定値:▲10.4万人)となり、昨年4月以降の減少数(21年5-22年4月累計)は235.4万人となった(図表4)。13か月連続で失業者数は減少し、コロナ禍で増加した人数を取り戻してから6か月連続で減少している。

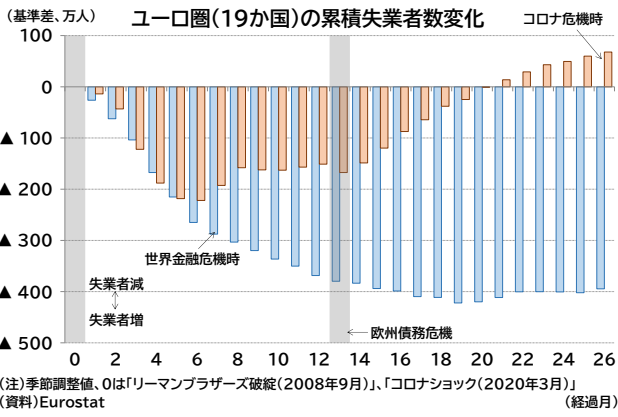
5月の若年失業率は13.1%で4月(改定前:13.9%→改定後:13.8%)から大幅に低下した(図表2)。4月以前の改定値は4月が若干下がったが、3月以前の改定値はほとんど変化がなかった。若年失業者数は5月で198.8万人(前月差▲8.9万人)となり、200万人を下回った。

¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

(図表 3)

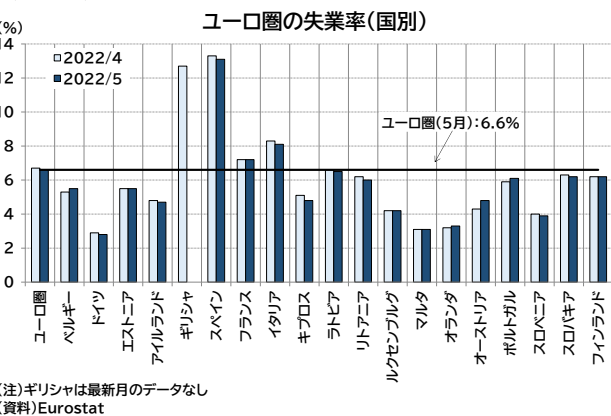


(図表 4)

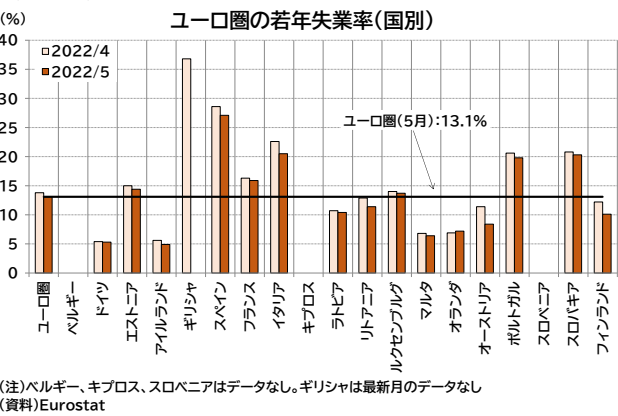


国別の5月のデータを見ると、失業率ではデータが公表されている18か国中、悪化した国が4か国、改善が9か国、横ばいが5か国だった(図表5)。また、若年失業率ではデータが公表されている15か国中、悪化した国が1か国、改善した国が14か国だった(図表6)。5月は若年失業率が大幅に低下しているが、広範な国での改善だったことが分かる。

(図表 5)

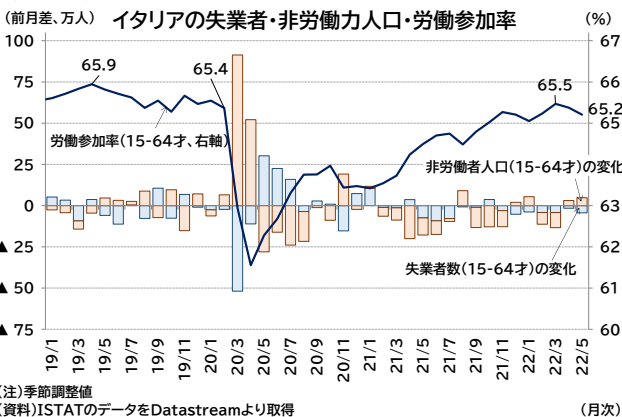


(図表 6)

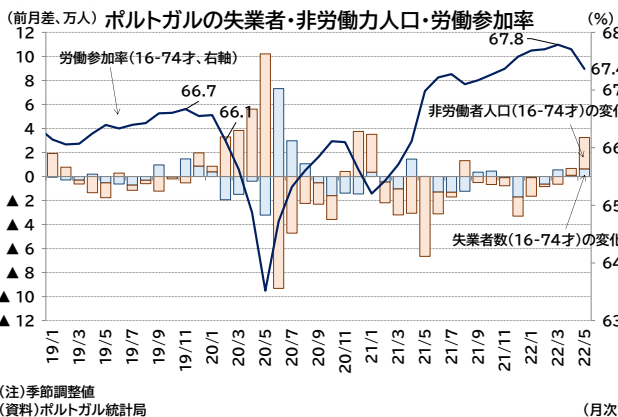


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が減少したものの、非労働力人口が増加したことで、就業者数が減少した(図表7)。ポルトガルでは失業者も非労働力人口も増加し、就業者数が減少している(図表8)。イタリアは失業率が低下したが、内容は良くない。また、ポルトガルでは非労働力人口の増加幅が大きく、21年1月以来の増加数となった。そのため、ポルトガルでは労働参加率が67.4%まで低下したが、水準は依然としてコロナ禍前水準を大幅に上回っている。

(図表 7)



(図表 8)



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。